

平成24年大磯町議会

3月定例会一般質問（2月27日・28日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1 15番 清水 弘子議員 (55分) 9:05～10:00</p>	<p>1. 石神台の下水道の供用開始は5月1日にできるのか 広報2月号に「公共下水道の使える地域が5月から拡大します」「東小磯、西小磯、国府本郷、生沢及び月京地区の一部の区域で、公共下水道が使えるようになります」とある。 石神台地区の住民の多くは、5月1日に供用開始されると思っている。 広報2月号に記載がないのはなぜか。</p> <p>2. 鳴立庵西側の葬儀場建設計画の白紙撤回を求める 大磯町役場、鳴立庵の隣に㈱サン・ライフの葬儀場の建設計画があり、白紙撤回を求めている。㈱サン・ライフ会長と大磯町長とのトップ会談が継続される中、1月27日、突然開発事業事前協議書が提出された。 住民説明会も十分されておらず、近隣住民ともども驚いている。その後、どのような話し合いが進んでいるか。</p> <p>3. 星槎グループ国際学園から保証金1億8,000万円は支払われたか (1) 星槎グループ国際学園から保証金1億8,000万円は支払われたか。その後の交渉経過は。 (2) 万台こゆるぎの森サッカー場の擁壁工事の完了検査はその後どうなったか。</p> <p>4. 大磯駅前マンション建設計画について 大磯駅前マンション建設計画は三菱商事が事業主となり、当初の計画から緑の保全や景観、防災面等、大磯らしさが失われる景観破壊の開発で容認できない。 町はどのような指導をしたか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>2 8番 高橋富美子議員 (50分) 10:20～11:10</p>	<p>1. 大磯中学校へのエレベーター設置について (1) 学校におけるバリアフリーとは。 (2) 子ども達が友達と一緒に学び、成長できる環境とは。</p>	<p>町 長 教育長</p>

	<p>2. 中学校における武道の必修について (1) 事故防止の手だては。 (2) 授業を行う環境はどうか。 (3) 学習指導員への賃金は。</p> <p>3. 町職員の健康管理について (1) 職員証導入の意義は。 (2) 心的疾患による休職者は。 (3) 職員が元気に働くことのできる職場環境とは。</p>	町 長 教育長 町 長
<p>3 3 番 土橋 秀雄議員 (50 分) 11:10~12:00</p>	<p>1. 町活性化の要となる観光政策（事業）をいかに進めるかを問う</p> <p>(1) 「観光立町大磯」を目標に、環境経済課の組織に「観光推進室」を立ち上げて現在に至るが、このたび町から提案されている機構改革（案）では、建設経済部の組織内に変わり、産業観光課として位置付けられている。その目的、方向性等を説明せよ。</p> <p>(2) 黒岩知事が進めている県観光条例と観光推進計画に町はどのように対応すべきか。知事は「観光マグネット宣言」を発信して観光行政の充実強化を目指している。町は現状を把握し、改善し、どう対応するのか。</p> <p>(3) 遅れている大磯の観光政策（ハード、ソフト）の早急な確立のため、オール大磯として観光推進体制整備が必要と考えられる。現在、「大磯町観光推進連絡会議」があるそうだが、その目的、内容等、現状を詳しく説明せよ。</p> <p>(4) 町は各団体・グループの活動をいかに統括し、町活性化に結びつけたか。具体的な指導はどのように行われているか。</p> <p>(5) 多額の観光予算が観光事業に対して、いかに有効かつ効果的に使われ、町活性化に貢献したかを検証しているのか。町として、昨年度の検証結果は出ているのか。</p> <p>(6) 観光協会・商工会・ガイドボランティア協会との協働関係はしっかりできているのか。大磯市など民間団体の活動に町はいかに対応しているのか。</p> <p>(7) 大磯ガイドボランティア協会が発行しているガイド資料（冊子）は実に分かりやすく、読むと大変参考になり、知識も広がる。町はこの冊子作成に、どのように関与されているか。</p>	町 長

<p>4</p> <p>1 1 番 吉川 重雄議員 (90分) 13:00~14:30</p>	<p>1. 問題あり町長の政治姿勢を問う</p> <p>(1) 町長に就任し一年が経過した中で、行政手法の実態を検証する。公約でもある町民目線の行政手法に問題はないか。また、しがらみを断ち切る行政を進めると公言した行政手法に問題はないか。</p> <p>(2) 町政を進める中で、問題がおきても、みずからの“力”で打開策を示さず、他人に手助けを求めるなど政治手腕の欠落を露呈させている。また、問題解決のために、みずから汗をかくこともなく、トップとしての責任を全うすることのない、町長の政治姿勢について問う。</p>	<p>町 長</p>
<p>5</p> <p>1 3 番 坂田よう子議員 (70分) 14:50~16:00</p>	<p>1. 県立城山公園拡大による旧吉田茂邸再建の展望を問う</p> <p>旧吉田茂邸の再建は、県立城山公園の拡大と一体化した事業である。既に、旧吉田茂邸の再建方針（案）に対する、県と町との協議は、一定の結論に至った。そこで、県立城山公園拡大整備事業及び旧吉田茂邸再建事業に関する展望を問う。</p> <p>(1) 県立城山公園拡大による旧吉田茂邸再建の全体像について。</p> <p>(2) 旧吉田茂邸再建の進捗状況について。</p> <p>(3) 郷土資料館の利活用について。</p> <p>2. 駅前洋館の保存活用を問う</p> <p>大磯駅前に建つ町のランドマーク、三角屋敷「旧木下家別邸」が、国登録有形文化財に登録すべきとの答申がなされた。町は、この歴史的建造物をいかに利活用すべきかを真剣に検討し、募集要項（案）を示すとされている。</p> <p>邸園文化圏再生構想を主軸に、この保存活用を展開すべきとの観点から、町の所信を再度問う。</p> <p>3. 大磯港再整備計画の今後の展開を問う</p> <p>町は、機構改革の方針において、第4次総合計画中期基本計画の推進のため、効果的かつ効率的に町政運営ができる組織づくりを行うとした。とりわけ、まちづくり部門の強化を掲げ、大磯港再整備計画をはじめ、大磯港を核としたまちづくりに積極的な姿勢を示した。その本意と具体的展開について問う。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>6 7番 竹内恵美子議員 (50分) 9:00~9:50</p>	<p>1. 24年度からの中学校武道の必修化について 現状の課題と新たな展開について (1) 実施についての内容は。 (2) 指導者体制は。 (3) 授業数の内容は。 (4) 実技(柔道、剣道)の内容は。 (5) バスケットボールルール変更についての内容は。</p> <p>2. 地域で安心して暮らすために 24年度から介護保険法の改正があり、大磯町でも4月から改正される。これからの課題と問題点は。 (1) 地域包括ケアシステムの考え方について。 (2) ボランティアによる「ポイント制度」の進捗状況は。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p>
<p>7 12番 関威國議員 (50分) 9:50~10:40</p>	<p>1. 町長のマニフェストを問う (1) 実行にあたっての考え方は。 (2) 初年度で実行できたものは何か。 (3) これから実行するマニフェストとその財源は。</p> <p>2. 葬儀場建設の事前協議書が提出されたが (1) トップ交渉継続中に、なぜ提出されたか。 (2) 建設予定地の買取り交渉は強力に進めているのか。 (3) 粘り強く交渉すると言っているが、事前協議書が提出されたからにはスピードアップして交渉してもらいたい。町長の交渉決意を問う。</p> <p>3. 放射線量の測定は (1) 補正予算で購入した測定器の活用状況は。 (2) 町内の放射線量の直近の測定結果は。 (3) 測定器を町民に貸出す計画はあるのか。 (4) 学校給食用食材の放射能濃度の検査はどうするのか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長 教育長</p>
<p>8 2番 二宮加寿子議員 (60分) 11:00~12:00</p>	<p>1. 女性の視点からの防災対策を問う 東日本大震災では避難所で女性の着替える場所がない等既存の防災対策に「女性の視点」が決定的に欠落している実態が浮き彫りになった。そこで伺う。 (1) 防災会議への女性委員の積極的な登用は。 (2) 地域の防災計画に女性の意見を反映させる取り組みは。</p>	<p>町長</p>

	<p>(3) 避難所運営防災訓練について女性や高齢者、障がい者などの積極的な参加を促す実践的な実施、HUG（避難所運営ゲーム）の導入などは。</p> <p>2. 健康支援の推進を問う がんは早期発見、早期治療の推進と受診率向上が最も重要であると考えている。また、健康で元気な高齢者に対する支援を問う。</p> <p>(1) 検診と検診受診率向上について。 (2) 予防検診の早期実施の考えは。 (3) 健康で元気な高齢者対策や高齢者が集まる場の拡大などは。</p>	町 長
<p>9 9 番 鈴木 京子議員 (90 分) 13:00～14:30</p>	<p>1. まちづくり条例に関する住民要望のいかし方は 役場隣の葬儀場、駅前マンション、代官山マンション、民間保育園に関し、住民要望をどういかされるのか、所見を問う。 また、手続きが止まっている計画に対しての考え方も合わせて問う。</p> <p>2. 町及び土地開発公社の土地管理は適切か (1) 万台こゆるぎの森の保証金未払い状態の解決、サッカー場の工事完了検査申請取り下げの対応、国際学園以外の法人設置に対する町の考えを問う。 (2) 町及び土地開発公社の有休地の活用について問う。</p> <p>3. 支援の必要な児童・生徒への対応は 幼児期から複数の観点をいかした早期の支援策の確立、必要に応じた支援がなされているか、改善点も含め所見を問う。</p> <p>4. 住宅リフォーム助成制度創設の考えは 全国的に地域経済の活性化に寄与する住宅リフォーム助成制度を防災の観点もいかし進める考えはないか、所見を問う。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>

9 名 23 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。